

# 日赤ニュース

No. 47  
2012年

発行日：平成24年9月  
発行責任者：河井 繁  
編集・発行：伊勢赤十字病院 広報委員会  
伊勢市船江1丁目471番2  
☎ 0596-28-2171(代表)  
<http://www.ise.jrc.or.jp>

## 理念

人道に基づき赤十字病院として  
質の高い医療を提供します

## 基本方針

1. 人道を掲げる赤十字の原則に基づき、人々の健康と生命の尊厳を守ります
2. 人権を尊重します
3. 個人情報保護に万全を尽くします
4. 医療水準の向上に努め、最善の医療を提供します
5. 地域医療機関との連携により、個人に合った適切な医療を提供します
6. 救急医療の充実に努めます
7. 災害時の医療救援や国際救援に貢献します
8. 健全な運営に努め、末永く地域社会に貢献します

## 三重県ドクターへり 運航から7か月 —8月、9月は伊勢赤十字病院が基地病院となります—

### 救命率の向上と後遺症の軽減を図るために

— フライトナースから —

救命救急センター 救急看護認定看護師 竹中 由佳

三重県ドクターへりは平成24年2月より運航開始され、三重大学附属病院と伊勢赤十字病院で2ヶ月毎に基地病院の交替をしています。8月、9月は伊勢赤十字病院が2回目の基地病院として再び稼働し始めました。県内の皆様にはドクターへりの運航にご協力いただき本当に感謝しています。

ドクターへりに搭乗するフライテナースは立ち上げ前に、全員が無線の免許を取り、日本航空医療学会主催するドクターへり講習会を受講、愛知医科大学での2週間の実践研修を経て、4月から当院で実際にフライテナースとしての活動を開始致しました。

ドクターへりは天候にもよりますが時速200キロ以上で飛行し、県内全域を約30分程度でカバーすることができます。これまで病院までかなりの時間を要して救急車で搬送されていた患者さんを思うと、今後三重県の救急にドクターへりはなくてはならない存在になっていくことと確信しています。しかし短時間での患者搬送というイメージが強いドクターへりですが、1番の目的は医師、看護師をできるだけ早く現場に投入し、早期に診療を開始することで患者さんの救命率の向上と後遺症の軽減を図るところにあります。

現場では救急隊の協力のもと速やかに患者さんの診療を行い、早急に現場での医療的処置が必要か、または処置は最小限にしてすぐにドクターへりで病院に搬送する方がよいか、または医師と看護師が同乗して救急車での搬送(ドクターカー方式といいます)がよいか判断して患者さんにとって一番安全で有効な方法を考えて活動しています。また限られた時間で治療・処置が優



35m×35mの平坦な場所でかつ周辺に高い障害物がなければ離発着が可能



病院到着。救命救急センターへ移送



先される中でも看護師として患者さんに安心感を感じていただけるよう接することを心がけています。ヘリの離発着にはダウンウォッシュという強烈な吹きおろしの風と騒音が伴い、着陸場所の皆様には多大なるご迷惑をお掛けしておりますが患者さんの救命のため、今後ともご協力を宜しくお願い致します。

ドクターへりは救急車のように個人での要請はできませんが、県内全ての重症患者さんがドクターへりの恩恵を受けることができるよう、説田救命センター長のもと今後各消防機関とも連携し、さらに三重県ドクターへりの質の向上を図れるよう、フライテナースとして努力していきたいと思っています。ドクターへりの運航はフライテナースを始め、各消防機関、運航関係者、搬送先の病院の皆様、三重県民の方々、全てのチームワークが何よりも重要であると感じています。今後ともドクターへりへのご協力をどうぞ宜しくお願い致します。

### ドクターへり要請から傷病者との合流までの流れ



# 臨床検査部

採血をお待ちいただく  
時間が短くなりました。



採血室は、1階外来の前の外来総合処置室の中にあります

## ●採血室

新病院では各科外来が集約されたことと採血室と待合室が一緒になり、お呼びしてからすぐに採血出来るようになりました。

## ●中央検査室

中央検査室では検体検査（血液、尿、便など体から採取した試料を分析）を行っております。

採血室、採尿用トイレと隣接しており直ぐに検査をすることができます。また、救急外来とも隣接しており迅速に対応できる設計になっています。

中央検査室には大型分析機（1時間に2000テスト：1人10項目の検査の場合1時間に200人分の検査ができます）が2台配置されており、1台が故障してももう一台の分析機で検査ができる安全なシステムになっています。

また、精度管理（検査結果が正しいか、ばらつきがないかの管理）もしっかりと行えるシステムを導入しており、正しい結果かどうかコンピュータが瞬時に判断して電子カルテに送っています。



新システムの導入により、検査結果が早くなり迅速に対応できるようになりました

## ●生理検査室

新病院に移転し、神経生理機能（脳波・筋電図・大脳誘発）、聴力検査、循環生理機能（ABI・心電図）、肺機能、超音波（心臓・腹部臓器・表在臓器・頸動脈）が同じ場所に集まることにより検査から検査への移動距離が少なくなりました。

また、脳の手術時の脳機能・脳神経機能をモニタリングすることにより手術時の合併症を極力少なくするためのサポートも行っています。救急外来の患者様の心電図などの対応もこの検査室が行っております。

検査室中央にはスタッフの仕事のスペースがあり、患者さまの急な変化に直ぐに対応できるよう設計されています。



## 顔の腫瘍

高齢化に伴って顔にはいろいろな出来物（腫瘍）ができてきます。右のようなものに注意が必要で、おかしいなと思ったらお近くの皮膚科を受診してください。

1. こめかみや頬、耳に赤く、表面がかさかさし、時に汁ができる（日光角化症）
2. 鼻や下まぶた、上唇に黒く、潰瘍を伴い、時々出血する（基底細胞癌）
3. 顔に赤く盛り上がり、正面はじゅくじゅくし、かさぶたができたり、臭いにおいがする（有棘細胞癌）
4. 頭部、前頭部に打ち身のような紫色のあざができる、治らない（血管肉腫）
5. 頬に黒いしみが段々大きくなり、色の濃いところと茶色のところがみられる（悪性黒色腫）

# 患者支援センターのご案内

患者支援センターは1階エントランスホール横のわかりやすいエリアに、計画的入院診療を支援する入退院管理室、総合相談室、がん相談窓口、地域連携室、訪問看護ステーション、在宅療養支援室を1箇所に集め、機能を円滑化しています。また患者図書コーナーを設置し、積極的な情報提供を行うとともに患者・家族の主体的な医療への参画を支援します。



患者支援センターは、入退院の流れをスムーズに患者さんの利便性を第一に考えさまざまな機能を集約しています。

## ■入退院管理室



入退院管理室では、入院前からさまざまな問題を把握し、早期に介入することにより退院後の生活を見据えた在宅療養支援や後方病院への転院調整を行っています。

## ■患者図書コーナー



患者図書コーナーでは疾患に関する情報提供の書籍と検索端末を設置しています。心温まる絵本も取りそろえています。

## ■総合相談室



病気や入院によって生じるさまざまな問題に対して医療ソーシャルワーカー（MSW）や看護師がご相談に応じています。

## ■がんサロン なごみ



がん患者同士のピアサポートを大切に支援し、専門スタッフが治療や日常生活についてサポートしています。

# 教室を受けられる患者さんへ

平成24年度より教室を受けられた場合、健康保険適用となりますので初・再診料・集団指導料の一部負担金をお支払い頂くことになります。ご了承下さいます様お願いします。(試食のある場合は別途材料費をいただきます)

伊勢赤十字病院 栄養課

## 教室参加のながれ

- ①外来または入院病棟で予約を入れて下さい。
- ②参加当日は直接、教室開催会場に入って下さい。
- ③診察券を教室の受付に渡して下さい。
- ④教室終了後、自動支払機にて清算をして下さい。  
\*必ず診察券をご持参下さい。

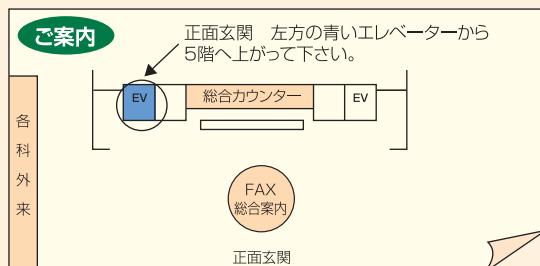
## 糖尿病教室の開催日お知らせ

【日 時】 10月は都合によりありません  
11月9日(第2金曜日) 9:00~13:00  
12月21日(第3金曜日) 9:00~13:00  
平成25年1月18日(第3金曜日) 9:00~13:00

【場 所】 伊勢赤十字病院 5階 第7会議室(下記参照)

【参加費】 500円(昼食あり)

※詳細は別紙ありますのでご覧ください。



## 平成24年 肝臓病教室

日 時	テーマ
11月12日(月) 13:30~16:00	肝硬変の合併症と治療

(月)のみ会費：500円と、参加申し込みが必要です。  
(肝臓病食の見本を準備します。)



## 敷地内禁煙

当院では

敷地内禁煙を実施しています。



当院は、受動喫煙対策義務を定めた健康増進法を受け、平成22年10月1日より、「病院敷地内全面禁煙」となっています。「より安全で快適な環境」と皆様のご健康を守るため、駐車場を含む病院敷地内全面禁煙とされています。

病院周辺においてもマナーをお守りいただき、病院敷地内全面禁煙に皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

## 新しくなった伊勢赤十字病院で将来の夢をふくらませよう！

高校生のための医療の現場体験ツアー2012 in 伊勢赤十字病院 開催



「高校球児の胸に野球ボールが・・・心肺停止状態！」緊張感が走ります



4人のツアーコンダクターが旗をもってご案内



ドクターへリを間近に見れて、救急医療に感銘しました！

去る8月28日、医療の現場体験ツアーを伊勢赤十字病院で開催しました。看護職のユニフォームや救護服を着用して将来の姿をイメージしながら、伊勢赤十字病院の地域での役割、赤十字や医療の現場について学ぶ5つのゾーンをスタンプラリー形式でまわるツアーです。医療（主に看護）に興味のある三重県中南勢地域9校、1~3年生45名が参加。いのちを救うわざのゾーンでは、「高校球児の胸に野球ボールが・・・心肺停止状態！」という緊迫した設定のもとで、AEDを用いた心肺蘇生法を学びました。また、採血体験ゾーンでは本物の注射器と針での疑似採血を体験。コードブルードクターヘリのゾーンでは待機しているヘリを見学、ドクターヘリの要請がいつかかるかドキドキしながら、救急医療について学びました。ナースになりきり体験ゾーンでは、ナースと一緒に病棟や手術室を見学。「採血やドクターヘリの見学など普段ではできないことを体験し、ますます医療に関心がもてた。」「自分の進路を考える参考になった。」「今日の体験は、今後の自分の行動にとても役立つと思う。」などの感想が聞かれました。また、赤十字のサポーターのゾーンではAKBの等身大パネルと記念撮影。地域の医療を担う次世代の看護職育成につながることを期待し、将来の夢を応援したいと思います。